

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 16 年 8 月 12 日 (2004.8.12)

【公開番号】特開 2000-305030 (P2000-305030A)

【公開日】平成 12 年 11 月 2 日 (2000.11.2)

【出願番号】特願 平 11-115292

【国際特許分類第 7 版】

G 0 2 B 26/10

B 4 1 J 2/44

H 0 4 N 1/113

【F I】

G 0 2 B 26/10 D

B 4 1 J 3/00 D

H 0 4 N 1/04 1 0 4 A

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 7 月 23 日 (2003.7.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

レーザ光束を等角速度偏向する回転多面鏡と、前記回転多面鏡により等角速度偏向されたレーザ光束を等速度偏向に補正する  $f$  レンズと、前記  $f$  レンズにより補正されたレーザ光束に対して前記回転多面鏡の面倒れを補正して被走査面上に結像する面倒れ補正レンズとを備えた走査光学装置において、  
前記  $f$  レンズを透過して前記面倒れ補正レンズの走査終了側のエッジ部に向かうレーザ光束を遮光する遮光部材を備えたことを特徴とする走査光学装置。

【請求項 2】

前記遮光部材は、前記面倒れ補正レンズの取り付け部材であるか、または前記取り付け部材に取り付けられていることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の走査光学装置。

【請求項 3】

前記遮光部材は、前記面倒れ補正レンズまたはその取り付け部材に塗布または貼り付けられていることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の走査光学装置。

【請求項 4】

レーザ光束を発するレーザ光源と、このレーザ光束をモニタする 1 つの受光素子を有し、前記レーザ光源を前記面倒れ補正レンズの有効光路外であって走査終了側で順次発光させて前記 1 つの受光素子によりモニタすることにより、前記レーザ光源の光量を制御することを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の走査光学装置。

【請求項 5】

前記レーザ光束及びレーザ光源が複数であることを特徴とする請求項 4 記載の走査光学装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 1 3 】

第 4 の手段は、第 1 ないし第 3 の手段においてレーザ光束を発するレーザ光源と、このレーザ光束をモニタする 1 つの受光素子を有し、前記レーザ光源を前記面倒れ補正レンズの有効光路外であって走査終了側で順次発光させて前記 1 つの受光素子によりモニタすることにより、前記レーザ光源の光量を制御することを特徴とする。

第 5 の手段は、第 4 の手段において前記レーザ光束及びレーザ光源が複数であることを特徴とする。

## 【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 2 2

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 2 2 】

請求項 4 および 5 記載の発明によれば、A P C 制御のために走査終了側で点灯させる場合にフレアを防止することができる。